

Financial Report

財務情報に見る >> 公立大学法人 大阪府立大学

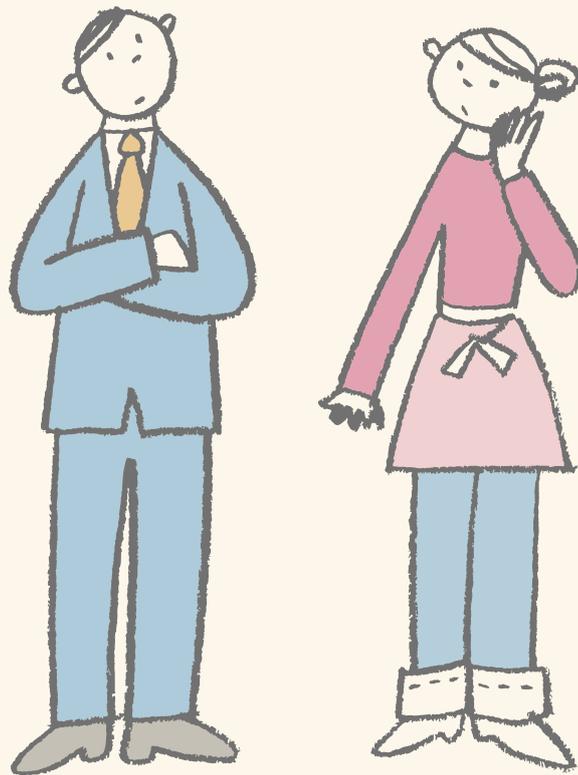
2012

平成23年度
財務レポート





公立大学法人化の後、 大阪府立大学の「改革」は、 どのくらい進んだの？



「高度研究型大学」を目指して、 第2期中期計画に基づく取り組みを推進しています。

平成17年4月、大阪府立大学・大阪女子大学・大阪府立看護大学の統合とともに、現在の「公立大学法人大阪府立大学」が誕生しました。以来、「高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点～」を目指して改革を推進し、平成23年4月には、大阪府立工業高等専門学校を統合しました。本冊子では、第2期中期計画の初年度となった平成23年度の財務状況をご報告するとともに、新たな発展に向けた活動をご紹介します。

「公立大学法人化」後の経営状況を、 財務基礎データでご説明します。

	公立大学法人化		平成23年度		
	平成17年度	第1期中期計画最終年度 平成22年度	大阪府立大学	工業高等専門学校	合計
経常費用 (単位:百万円)					
経常費用合計	18,940	18,919	20,070	1,372	21,442
■主な項目					
教育研究経費	3,921	4,039	4,039	248	4,287
教育経費	2,050	2,039	1,930	196	2,126
研究経費	1,872	2,000	2,109	52	2,160
教育研究支援経費	397	1,003	1,225	9	1,234
受託研究費・受託事業費	614	1,124	1,564	1	1,565
人件費	12,845	11,290	11,880	1,037	12,917
一般管理費	955	1,197	1,062	72	1,134

民間的な事業手法導入等によりコスト削減に努めながら、教育研究環境の整備を進めています。この環境整備に係る費用を除く基本的な教育研究経費は公立大学法人化初年度のレベルを維持しています。

⇒ P.8 教育研究環境の整備

組織改革を進め、効率的な法人運営に努めています。

法人化後の新たな学舎整備等に伴い、一般管理費が増加しました。

経常収益 (単位:百万円)					
経常収益合計	19,481	18,773	20,158	1,403	21,562
■主な項目					
運営費交付金収益	12,684	10,350	10,042	1,101	11,144
学生納付金等収益	4,766	4,767	5,046	236	5,281
受託研究・受託事業等収益	709	1,287	1,753	1	1,754
補助金等収益	263	771	981	19	1,000
寄附金収益	174	122	115	3	118
獣医臨床センター収益	113	170	213	0	213
資産見返負債戻入	523	823	1,438	35	1,473

⇒ P.8 教育研究環境の整備

運営費交付金は、大学運営のために設立団体(大阪府)より交付されるものです。

産学官連携等による外部資金の獲得額は大きく増加し、平成23年度は公立大学法人化初年度と比べ、約2.5倍となりました。獣医臨床センター収益も、着実に伸ばしています。

⇒ P.10 自己収入の強化

行政サービス実施コスト (単位:百万円)					
行政サービス実施コスト	20,819	18,222	15,398	1,582	16,979

行政サービス実施コストは、さまざまな要因を加味して、皆さまに負担していただいている費用を計算したものです。平成23年度は、公立大学法人化初年度と比べ、26%減となりました。社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

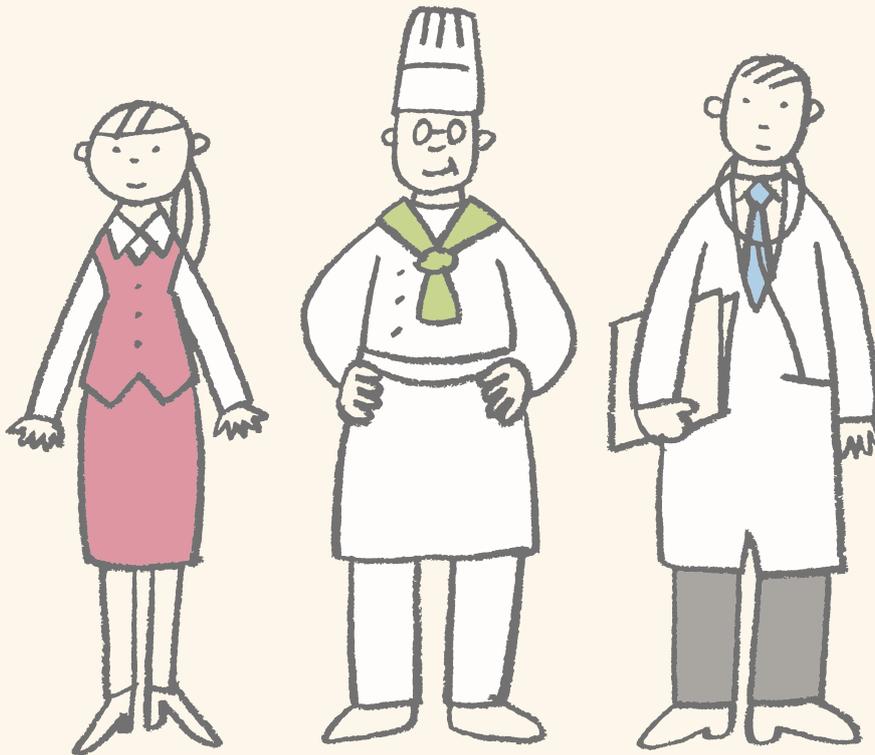
⇒ P.9 社会貢献活動

学生数 ※各年度5月1日現在 (単位:人)					
合計	8,018	8,000	8,110	1,037	9,147
(高専・本科)	—	—	—	978	978
学部生(高専・専攻科)	6,580	6,376	6,387	59	6,446
大学院生	1,438	1,624	1,723	—	1,723

教職員数 ※各年度5月1日現在 (単位:人)					
教職員数	1,093	918	911	90	1,001



平成23年度の財務状況の
ポイントを分かりやすく
説明してください。



さらなる経営努力を続けながら、
「学域制」の導入に向けた準備を進めました。

平成23年度は、公立大学法人化から6年間にわたる改革の成果をもとに第2期中期計画を策定し、経営の効率化を進めながら、「学域制」のスタートに向けてさまざまな活動を展開しました。また、設立団体(大阪府)から土地・建物の現物追加出資を受けたことにより、資産、純資産(資本金)が増加しました。なお、工業高等専門学校との統合に伴い、財務諸表にセグメント情報を開示しています。

まず、公立大学法人会計の特色と、 財務諸表を構成する会計情報についてご説明します。

[公立大学法人会計の特色]

公立大学法人は、授業料等の学生納付金のほか、設立団体（大阪府）からの運営費交付金等によって運営されており、地方独立行政法人法に基づき、財務状況を公開する責任を負っています。

公立大学法人の会計基準は、企業会計に準拠し公共面を加味した国立大学法人会計基準を参考にして作られており、

複式簿記により財務諸表を作成することが義務付けられています。また、公立大学法人は利益の獲得を目的とせず、運営費交付金を受けて事業を実施する法人であるため、計画通りの業務運営を実施することで損益が均衡する仕組みが、会計制度の基本となっています。

[財務諸表を構成する会計情報]

公立大学法人では、企業会計に準じた「貸借対照表」、「損益計算書」、「キャッシュ・フロー計算書」のほか、税金を主財源としているため、企業会計にはない「行政サービス実施コスト計算書」などの作成も義務付けられています。これ

らの財務諸表は、府民の皆さまに閲覧していただけるよう大学内事務所に備え置くとともに、大阪府公報や大阪府立大学のWebサイトでも、広く一般に向けて公開しています。

<p>貸借対照表</p>	<p>貸借対照表(バランスシート)は、決算日現在(3月31日)における財政状態を表すための書類です。大阪府立大学の持つすべての資産、負債および純資産について記載されています。資産とは、保有している財産と権利を表すもので、資金の運用形態(資金を何に使ったか)を示しています。負債と純資産については、資金の調達源泉(資金をどこから得たか)を示しており、負債は返済が必要なもの、純資産は返済が不要ものとなっています。</p> <p>➡ P.5 貸借対照表の概要</p>
<p>損益計算書</p>	<p>損益計算書とは、事業年度期間(4月1日から3月31日まで)のすべての費用と収益を記載した書類です。公立大学法人は「損益均衡の原理」を基本としており、損益計算書については、企業会計のように経営成績を示すためではなく、運営状況を明らかにし、運営実績の評価に資することを目的としています。</p> <p>➡ P.6 損益計算書の概要</p>
<p>キャッシュ・フロー計算書</p>	<p>キャッシュ・フロー計算書とは、事業年度期間における資金収支の状況を、活動区分別に表示して、大阪府立大学の活動内容を資金の流れから表すものです。業務活動、投資活動、財務活動の3つに区分されています。</p>
<p>行政サービス 実施コスト計算書</p>	<p>行政サービス実施コスト計算書とは、皆さまに負担していただいているコストを表す書類です。実施コストの中には、損益計算上の費用額に加えて、引当外退職給付増加見積額や引当外賞与増加見積額、機会費用を加味して表示します。</p>

財務諸表の「貸借対照表」と「損益計算書」の概要で、 平成23年度の財務状況をご説明します。

[貸借対照表の概要]

事業年度末時点の財政状態を表しています。

(単位:百万円)

資産の部					負債の部				
	平成22年度	平成23年度				平成22年度	平成23年度		
		大阪府立大学	工業高等 専門学校	合計			大阪府立大学	工業高等 専門学校	合計
固定資産	61,715	92,225	7,152	99,378	固定負債	26,228	26,073	679	26,753
有形固定資産	47,915	77,692	7,134	84,827	資産見返負債 ^{※2}	11,180	10,611	483	11,093
土地	0	31,660	5,365	37,025	退職給付引当金	449	476	0	476
建物	35,107	34,205	1,221	35,425	割賦未払金(長期) ^{※1}	13,196	13,289	0	13,289
工具器具備品	4,370	3,960	147	4,107	資産除去債務 ^{※3}	—	145	0	145
図書	7,202	6,647	192	6,839	その他	1,403	1,553	197	1,749
その他	1,236	1,221	209	1,430	流動負債	5,340	5,029	289	5,318
無形固定資産	327	447	18	465	運営費交付金債務	0	0	37	37
特許権・商標権・ 産業財産権仮勘定	230	256	0	256	寄附金債務	723	696	4	700
その他	96	191	18	209	割賦未払金(短期) ^{※1}	1,111	907	0	907
投資その他資産 ^{※1}	13,474	14,086	0	14,086	資産除去債務 ^{※3}	—	1	0	1
未収財源措置予定額	13,196	13,289	0	13,289	その他	3,506	3,425	247	3,672
その他	278	797	0	797	負債合計	31,567	31,102	968	32,070
流動資産	5,562	4,947	305	5,252	純資産の部				
現金及び預金	2,905	3,220	292	3,512	資本金 ^{※4}	35,147	66,807	6,815	73,622
未収入金 ^{※1}	1,207	352	3	356	資本剰余金 ^{※5}	213	△1,168	△363	△1,530
未収財源措置予定額	1,106	907	0	907	利益剰余金 ^{※6}	300	388	37	426
その他	344	468	10	477	(当期末処分利益)	(4)	(127)	(37)	(165)
					その他	49	42	0	42
資産合計	67,277	97,172	7,457	104,630	純資産合計	35,710	66,070	6,489	72,559
					負債・純資産合計	67,277	97,172	7,457	104,630

※()は、内数

※1 新たな施設整備をSPC方式等により長期割賦で行い、この割賦代金は設立団体(大阪府)により財源措置されます。そのため、未収財源措置予定額及び割賦未払金を、それぞれ資産と負債に計上しています。

※2 資産見返負債は、運営費交付金、国等からの補助金等により償却資産を取得した場合に計上される負債です。

※3 地方独立行政法人会計基準の改訂により、新たに資産除去債務を計上しました。

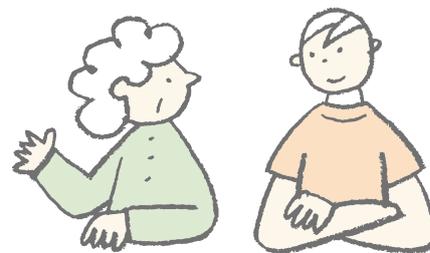
※4 資本金は、設立団体(大阪府)から出資された土地・建物相当額です。

※5 資本剰余金は、設立団体(大阪府)からの施設整備補助金や、目的積立金による施設整備額などを計上しています。

※6 利益剰余金は、公立大学法人の運営によって生み出された成果としての利益をいいます。

「貸借対照表」「損益計算書」の詳細、「キャッシュ・フロー計算書」、「行政サービス実施コスト計算書」、「セグメント情報」の詳細については、Webサイトで開示している「財務諸表」を参照ください。

⇒ <http://www.osakafu-u.ac.jp/info/disclosure/zaimu/>



[損益計算書の概要]

事業年度の運営状態を表しています。

(単位:百万円)

費用の部

経常費用	平成22年度	平成23年度		
		大阪府立大学	工業高等専門学校	合計
教育経費	2,039	1,930	196	2,126
研究経費	2,000	2,109	52	2,160
教育研究支援経費	1,003	1,225	9	1,234
受託研究費	1,004	1,485	1	1,486
受託事業費	121	79	0	79
人件費	11,290	11,880	1,037	12,917
一般管理費	1,197	1,062	72	1,134
財務費用	261	298	5	303
雑損	3	2	0	2
経常費用合計	18,919	20,070	1,372	21,442
臨時損失	496	17	65	83
当期総利益	4	127	37	165

収益の部

経常収益	平成22年度	平成23年度		
		大阪府立大学	工業高等専門学校	合計
運営費交付金収益	10,350	10,042	1,101	11,144
学生納付金等収益	4,767	5,046	236	5,281
受託研究等収益	1,163	1,673	1	1,674
受託事業等収益	124	80	0	80
補助金等収益	771	981	19	1,000
寄附金収益	122	115	3	118
資産見返負債戻入	823	1,438	35	1,473
財務収益	5	3	0	3
雑益	648	779	8	788
経常収益合計	18,773	20,158	1,403	21,562
臨時利益	276	17	71	89
(目的)積立金取崩額	370	39	0	39

■主な変動要因

〈貸借対照表〉

●固定資産は、設立団体である大阪府から土地(大学、高専)、建物(高専)の現物追加出資を受けたことなどにより、約377億円の増となりました。この出資により、資本金が約385億円増の736億円となりました。

●平成23年4月1日に大阪府立工業高等専門学校が公立大学法人大阪府立大学に移管されましたので、高専に係る資産が約75億円増加しております。

〈損益計算書〉

●教育研究経費は、前年度と同水準となっております。新たな取り組みとして地方入試を実施しました。さらに、前年度に引き続きラーニングコモンズを整備するとともに、理系図書室を設置し図書資料の集約化を図りました。

●教育研究支援経費の増は図書資料の整理によるものです。

●受託研究件数は209件となり、前年度と比べ、33%増となりました。

●附属獣医臨床センター収益が診療件数の増加等により約43百万円増加しています。



「教育研究の質」を 高めるために、どのような 努力をしていますか？



**教育内容、研究水準の向上に努めるとともに、
教育環境の整備を進めています。**

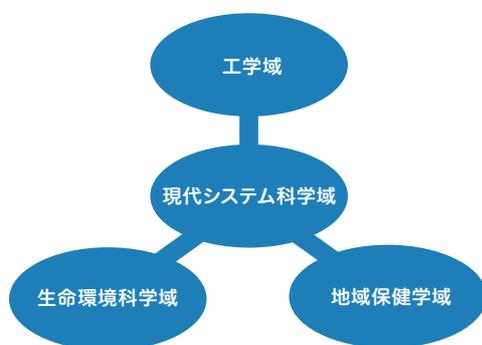
大阪府立大学では、大学改革の柱となる重要課題として、「大学の教育研究等の質の向上」に取り組んできました。平成23年度は、「学域制」の導入に向けた取り組みを進め、平成24年度の1年次生を対象とした新カリキュラム「初年次ゼミナール」の導入準備や、学生の自主的な学習を支援する「ラーニングコモンズ」の整備を行いました。

経営の効率化によって、コスト削減に努めながら、 「高度研究型大学」にふさわしい環境の整備を進めています。

[学域制の導入]

地域、そして世界を変える力になる、
大阪発の「知」の創造へ。

大阪府立大学では、平成24年4月より、「現代システム科学域」「工学域」「生命環境科学域」「地域保健学域」からなる「4学域13学類体制」の新たな学びをスタートしました。従来の学部学科間の連携をさらに進め、専門分野から関連分野まで幅広い分野を横断した、複合的な視点、発想、手法に基づいた学際的な学びを実現します。



植物工場研究センター

平成23年4月、経済産業省・農林水産省の支援を受けて中百舌鳥キャンパスに誕生した「植物工場研究センター」は、野菜等を天候や季節に左右されず生産することができる栽培施設です。完全人工光型では国内最大級の研究開発拠点であり、100社を超える企業の参加によって結成されたコンソーシアムで、さまざまな共同研究が進められています。



「多層型植物生産室」で栽培されるレタス

[教育研究環境の整備]

ラーニングcommons

「ラーニングcommons」は、学生の自主的な学習=アクティブ・ラーニングを支援するために、PC利用環境や組み合わせ・移動可能なテーブルなどを整備したスペースです。平成23年1月に学術情報センター(C5棟)内にオープンして以来、学生に幅広く活用されており、平成24年4月にはB2棟にも新たな「ラーニングcommons」を開設しました。



ラーニングcommons

学内保育施設「つばさ保育園」

大阪府立大学では、平成23年4月に、教職員等の仕事・研究と育児の両立の支援、男女の自由な活動の選択を拡げるため、中百舌鳥キャンパス内健康管理センター棟(B16棟)に学内保育施設「つばさ保育園」を開園しました。保育園の園庭フェンスには、本学美術部の学生が描いた動物の絵をプリントしたパネルを取り付けています。



つばさ保育園



「開かれた大学」を 目指して、どのような活動を 推進していますか？



「社会貢献」や「国際交流」の充実を図りながら、
産学官連携も積極的に進めています。

大阪府立大学では、平成23年4月に「地域連携研究機構」、「国際交流推進機構」を新設し、「開かれた大学」に向けた活動の充実を図っています。また、国・企業等との共同研究・受託研究などによる外部資金の獲得拡大に努め、さまざまな実績を上げています。



連続公開講座「関西経済論」



ネイチャービュー「府大花(さくら)まつり」



ベトナム・ハロン湾環境改善プロジェクト

地域、社会、そして世界との結びつきを深め、 未来への可能性を大きく広げています。



[自己収入の強化]

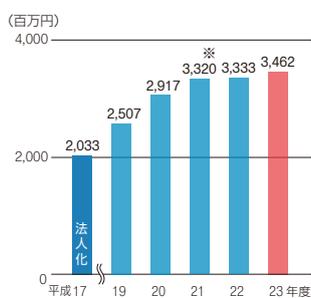
外部研究資金・特許権などの獲得状況

大阪府立大学では、公立大学法人化以来、外部研究資金※その他の自己収入の拡大による経営基盤の強化を推進しています。第2期中期計画においても、獣医臨床センターの

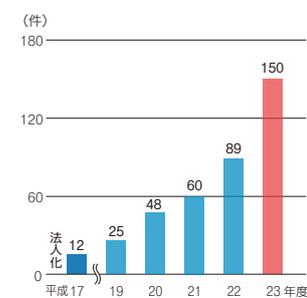
診療報酬を見直すなど、自主財源の獲得に向けたさらなる取り組みを進めています。

※科研費補助金、受託・共同研究費、受託事業費、補助金、研究助成金、寄附金等

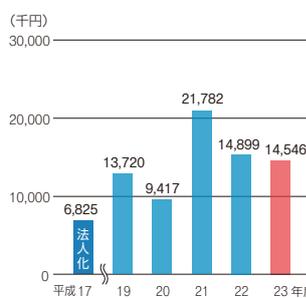
外部研究資金獲得額(契約ベース)



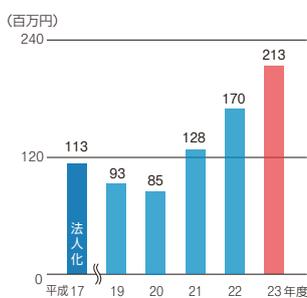
特許取得累計



ロイヤリティ収入



獣医臨床センター収益



※平成21年度はこの他、植物工場研究センター整備分の11億円を獲得

「[大阪府立大学工業高等専門学校]のスタート」

「大阪のものづくり職」を志す人材を幅広く育成

昭和38年4月の開校以来、寝屋川の地で約8,000名の卒業生を輩出してきた「大阪府立工業高等専門学校」が、平成23年4月1日より、公立大学法人大阪府立大学に移管され、「大阪府立大学工業高等専門学校」として新しいスタートを切りました。

府大高専では、5年間一貫教育でものづくり技術者を育成するとともに、地域貢献の一環として求職者や中小企業従業員を対象とした講習会を開催し、中小企業への人材供給や中小企業従事者のスキルアップにも積極的に取り組んでいます。平成23年度には全国中小企業団体中央会事業「ものづくり総合技術講習」と「ITエンジニア育成講座」の2つの事業を、財団法人大阪労働協会とともに、府大高専を会場として主催しました。いずれも実践重視の内容で多くの応募者を集め、府大高専に対する地域からの期待の大きさを示す結果となりました。

今後とも、府大高専においては、大阪府立大学との相互連携による社会的ニーズに対応した授業や、先端技術を含めた専門教育を実践し、その成果を社会に積極的に還元する仕組みの構築などに注力していきます。



寝屋川キャンパス



ものづくり総合技術講習

[創基130年記念事業]

130年の歴史を未来へつなぐプロジェクトの推進

大阪府立大学では、明治16年(1883年)の獣医学講習所設置から数えて、平成25年(2013年)に130年という節目を迎えるにあたり、「創基130年記念事業」を展開しています。次代の礎を築くため、「情報発信事業」「交流・ネットワーク事業」「アーカイブ事業」を推進することで、世界水準の教育・研究の実現と、いっそうの社会貢献に努めていきます。また、「大阪府立大学創基130年記念基金」を設置し、地域・国際交流拠点の整備や在学生・留学生への支援を計画しています。



創基130年
1883-2013



大阪府立農学校(勝山時代)



大阪府女子専門学校



中百舌鳥キャンパス(昭和40年代)



羽曳野キャンパス(平成6年~)



財務情報に見る >> 公立大学法人 大阪府立大学

Financial Report 2012



高度研究型大学~世界に翔く地域の信頼拠点~

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

経営企画部 経営企画課

TEL. 072-254-9108

<http://www.osakafu-u.ac.jp/>